

長岡崇徳大学アセスメント・ポリシー

長岡崇徳大学では、学生の学修成果を把握し、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP））に基づく教育の質の点検と改善を絶えず実施するために、大学レベル、教育課程レベル、科目レベルの3つのレベルにおいて、学修成果等を測定・評価します。

大学レベル

建学の理念に基づき、アドミッション・ポリシーを満たす人材に入学を許可しているか、カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、ディプロマ・ポリシーを満たす人材を育成できているかについて学修成果を評価する。

教育課程レベル

ディプロマ・ポリシー（DP：学位授与の方針）に定める資質・能力に関する学修成果を評価し、アドミッション・ポリシーを満たす人材に入学を許可しているか、カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、ディプロマ・ポリシーを満たす人材を育成できているかを評価する。

授業レベル

シラバスに定める科目の到達目標に関する学修成果を評価し、カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、ディプロマ・ポリシーを満たす人材を育成できているかを評価する。

<評価レベル・評価指標>

	DP で求められる資質・能力	入学前・入学直後	在学中	卒業時
大学レベル	DP1：豊かな人間性と高い倫理観 (1) 多様な文化や価値観を理解するために幅広い教養を身につけ、共感的な行動ができる。 (2) 人間の尊厳と権利を倫理的視点で考える。 (3) 一人ひとりの自己決定を尊重し、擁護する態度を身につけている。	・ 各種入学試験 ・ 面接 ・ 志望理由など	・ 休学率 ・ 退学率 ・ 学生満足度調査	・ 学位授与（卒業）率 ・ 就職率 ・ 進学率 ・ 国家試験合格率

教育課程レベル	DP2：看護実践力 (1) 看護を安全に実施するための基本的な知識・技術・態度を身につけている。 (2) 成長・発達段階と健康レベルに対処できる知識・技術・態度 (3) エビデンスに基づいた看護を実践する能力を身につけている。 (4) 自己の看護実践を振り返り、次の援助に活かす能力を身につけている。 DP3：連携・協働力 (1) 地域社会のネットワークの一員として情報を共有し参加できる。 (2) 多職種の枠割を理解し、連携・協働することができる。 (3) 変化する保健医療福祉制度の中で看護の果たす役割を理解する。	・調査書の記載事項 ・リメディアル教育	・コンピテンシー達成度 ・GPA ・定期試験 ・追, 再試験 ・単位認定 ・休学率 ・退学率 ・実習評価(ルーブリック等) ・学修履歴(ポートフォリオ) ・授業評価アンケート ・カリキュラム評価アンケート ・学生満足度調査：学修時間	・学位授与（卒業）率 ・就職率 ・進学率 ・看護師, 保健師国家試験合格率 ・コンピテンシー達成度
授業レベル	DP4：探求力 (1) 看護や医療への関心を深め、看護学を探究し続ける意欲を持つことができる。 (2) 多面的な視点から看護を分析し、追及する基礎的研究能力を身につけている。 DP5：地域的・国際的視野 (1) 地域的・国際的視野をもち、地域社会の特性と人々の健康ニーズを理解する力を身につけている。 (2) 看護職者として、専門的知識を地域社会の発展のため活かすことができる態度を身につけている。	・各種入学試験 ・アセスメント・テスト(学修到達度調査) ・業者との提携によるリメディアル教育 推薦・特別選抜入試対象者通信講座 必修：医療学生のための国語力入門 任意：医療系生物入門 ベーシック化学 ベーシック数学	・定期試験 ・追・再試験 ・単位認定 ・レポート評価(ルーブリック等) ・実習評価(ルーブリック等) ・授業評価アンケート ・基礎学力テスト 2～4年生 ・臨床看護技術経験録 ・看護課題研究評価 ・学生満足度調査：学習環境 ・ボランティア活動参加の有無	

